

✓ 1月26日～28日 nano tech 2022に出展



1月26日～28日まで東京ビッグサイトで開催されたnano tech2022に、公立千歳科学技術大学(科技大)とPWCが共同出展しました。

展示会では、PWCが産学官共同研究事業として実施している研究クラスターの紹介のほか、科技大からは、高田研究室のカーボン材料の作製方法と応用研究や、文部科学省「マテリアル先端リサーチインフラ事

業」について紹介しました。

コロナ禍の開催ではあったものの、来場者は、3日間で10,607名、ブース来場者は50名あり、ビジネスマッチングシステムを活用した面談も行われました。

オンライン展示は、2月28日まで開催していますので、興味のある方は、引き続き、ご活用ください。

【マテリアル先端リサーチインフラ事業】

科技大では、平成24年度から令和3年度まで10年間、文科省「ナノテクノロジープラットフォーム」に参画してきましたが、その後継事業として、今年度から新たに発足した文科省「マテリアル先端リサーチインフラ事業(ARIM)」に採択されました。

この事業は、データを活用した研究開発の効率化、高速化、高度化(マテリアルDX)に対応するため、高品質なデータを産学官から収集・蓄積・流通・活用できる仕組みを構築します。

科技大では、有機エレクトロニクスや、有機色素、無機セラミックなど光・電子を制御する新規ナノデバイス創製や、生体材料、光学高分子、バイオミメティクスに関する研究開発を支援しています。

◎ ナノテクプラットフォームの利用について

【利用手順】

- ①事前確認: 実験・測定可能か判断
- ②申請、③審査を経て、④設備利用
- ⑤成果報告書の作成
- ⑥成果公開(非公開型除く)

【利用形態】

- ①利用相談(無料)
- ②技術相談

③技術代行

- ④技術補助
- ⑤機器利用
- ⑥共同研究

【利用料金】

一般利用  
5,000円/日(大学等)  
10,000円/日(企業)  
<ARIMの利用料金は未定>

【主な設備】

- ・液体クロマトグラフ質量分析器(LC-MS)
- ・電界放出型走査電子顕微鏡
- ・ラマンイメージング
- ・透過型電子顕微鏡
- ・核磁気共鳴装置(NMR)など



写真 ハート形に見えるオコタンペ湖

事務局長の古田です。PWC事務局の古田です。私からは千歳市のフチ情報発信します。さて、皆様は千歳にある北海道三大秘湖のひとつオコタンペ湖をご存知ですか？支笏湖北、恵庭岳の西麓にある神秘的湖と言われているオコタンペ湖は、見る角度によつてハート形に見え、可愛らしい湖でもあります。湖を見渡せる展望台もありませんが、残念ながら現在は法面崩落のため通行止めになっています。お通した際には、ドライブの寄り道にはいかがでしょうか。

事務局ひとこと

3月4日13時から千歳アルカディアプラザで、PWCバイオミメティクス研究クラスター講演会をオンライン併用開催します。本講演会では、寒冷地特有の問題である着雪氷や、雪崩などの雪氷害と、フジツボなどの海洋付着生物が、発電所や港湾インフラなどに付着することで起こる諸問題について、表面現象である「滑」と「着」に着目して、事例紹介します。

- 【滑】① 世界の山々を歩いて「尾谷賢氏(ハイテックス)、② Dr. ナダレンジャーの3D眼鏡をとおして見た 雪氷&雪崩のサイエンス」納口 恭明氏(防災科学研究所)
- ③ 建物の雪対策「末永 雅裕氏(北海道セキスイハイム工業兼北方住文化研究所)

- 【着】① 水スポートに於ける生物付着の弊害「東 乙比古氏(ハイテックス)、② 表面性状による付着生物の接着制御「室崎 喬之氏(旭川医科大学)、③ 臨海取水施設の付着生物と防汚対策「津野 雅俊氏(北海道電力(株)総合研究所)
- 参加を希望される方は、PWC事務局までご連絡ください。

3/4(金) PWCバイオミメティクス 研究クラスター講演会開催決定!